

# 馬車道通信

## 魅力ある講座企画の考え方を身につける

～対話力から構想力まで～

平成28年1月27日(水) 9:30~12:00

「必要かつ魅力的な講座・事業」って何だろう？  
ニーズをつかむための対話力(聞く・聴く・訊く)  
をトレーニングを通して体感し、講座や事業を計画  
するための構想力(理想描写・現実直視・作戦)に  
ついて学びます。

## 思春期の心の声を聴く

～SOSに気づき、支えるために～

平成28年1月30日(土) 13:30~16:30

思春期特有の複雑な心の奥のSOSの気づき、受け止め、どのように支えていけばよいかを、実際に思春期の子どもの課題、問題を受け止め、支えている実践者の基調講演や事例報告、問題提起をもとに、一緒に考えます。

### 第1部

基調講演:「思春期の子どもとどう向き合うか～心を通わせるために大人が出来る事～」

●徳丸 のり子 氏 (よこはまチャイルドライン 代表理事)

活動報告: コミュニケーションが苦手な子どもやヤンチャな子どもたちと日々、向き合い、寄り添っている実践についてのお話を伺います。

●三ツ橋 健 氏 (横浜市寺尾地区センター職員)、宮代 哲男 氏 (杉並区立児童青少年センター職員)

### 第2部

パネルディスカッション:「地域の大人ができることを考える」

●パネリスト: 三ツ橋 健 氏/宮代 哲男 氏、コーディネーター: 徳丸 のり子 氏



## 10月23日 AED講習を受けました

育成センターでは、利用者さんの安全を守り、安心して活動ができる環境作りを行うために、毎年、コーディネーター・職員が避難誘導訓練とAED講習を受けています。

今年度は10/18(金)にAED販売会社の方に講師として来ていただき、講習会を行いました。

「毎回新しい気づきがあるし、何回も繰り返すことで、身体が動きを覚えていくのが分かる。『繰り返し』訓練することが重要だ」。AED講習や避難誘導訓練後の振り返りで、多くの職員から出る言葉です。

知識の確認や技術を身体に叩き込むことも大切ですが、それ以上に、自信をつけることで、「もしも」の時に、怖気づかず、気持ちを奮い立たせて対応できるようにすることに価値があるのではないかと思います。

これからも、「もしも」の時にしっかりと対応できるように、知識と技術と自信を蓄えて、みなさんがいつでも安心して使える育成センターを職員一同、目指していきます。

(職員 霜田)

■対象: 少年育成団体・施設職員、区民利用施設職員、青少年育成活動に関わる人など。

■講師: 佐々木 英和 氏  
(宇都宮大学 地域連携教育研究センター准教授)

■定員: 30名(先着順) ■費用: 500円

■申込み: ①講座名「講座企画の考え方」②氏名(ふりがな)③連絡先(TEL、E-mail)④所属等(あれば)を明記の上、TEL・FAX・E-mailでお申込み下さい。

■会場: 横浜市青少年育成センター 第1研修室

■対象: 青少年育成活動又は地域活動に関心をおもちの方(高校生以上)。

■定員: 70名(先着順) ■費用: 無料

■申込み: ①講座名「よこはまユース・シンポジウム」②氏名(ふりがな)③連絡先(TEL、E-mail)④所属等(あれば)を明記の上、TEL・FAX・E-mailでお申込み下さい。

■会場: 横浜市青少年育成センター 第1研修室



# 利用者さんの広場

～育成センター利用者さんの活動やインタビューをご紹介します！～

## 『ウェーブ』(スタジオ利用)

学生時代の音楽グループの時の軽音楽ジャズ仲間です。  
来年3月始めごろ、元町のクリフサイドで社交ダンスの演奏の発表会を行います。  
(鈴木さん 談)

スイングジャズを勉強してください!



## 馬車道 コラム Vol.37 わが愛しのサラ・ポーン

のしのしと彼女がステージに現れると、思わず涙が出てきてしまうわが愛しのジャズ・シンガーサラ・ポーン (Sarah Vaughan)。

今から約40年前、池袋駅西口に「ジャズ・ベッド」というジャズ喫茶があった。ある日、店内で流れていた彼女のレコードは、中野サンプラザホールでのライブ盤だった。(「ライブ・イン・ジャパン」1973年)中でも「バイ・バイ・ブラックバード(Bye Bye Blackbird)」は、何度もテーマが繰り返され、ご機嫌なスキヤットが乱舞の如く飛び交う、エキサイティングなライブ版であった。このレコードに一発で「ジャズおやじ」は Knock me out!

日本を代表するジャズ・シンガー大野えりさんが「変えられるものならサラの声帯に変えたい」と言うほど、オペラ歌手にも匹敵する声量がサラの魅力である。また、サラはアール・ハインツやビリー・エクスタイン楽団の第2ピアニスト兼歌手として在籍していたこともあってか、縦横無尽に繰り広げられるアドリブが凄い。ニュー・オリンズでのライブ(DVD)では、ハービー・ハンコックやメイナード・

ファーガソン等の巨匠と対等にアドリブを繰り出す程の実力の持ち主である。

過去3回彼女のステージを見たが、歌そのものもさるところながら、ステージでのパフォーマンスが素晴らしい。歌をただ歌うだけでなく、曲間のおしゃべりや仕草がとともチャーミングなのだ。彼女のいつもの決まり文句「私の名前知っている? 私はカーメン・マクレーよ(他のライバル歌手の名前を言う)」というフレーズは、「春風亭柳昇と言え、我が国では・・・」という春風亭柳昇師匠の決まり文句に匹敵するぐらい、ファンにはとても嬉しいパフォーマンスなのである。最近注目されているD.K.という歌手のコンサートに行ったが、サラのステージと比較してあまりにも無味乾燥なステージにがっかりしてしまったことがある。

そのサラは、1990年に66歳で亡くなってしまふ。一度でいいから、サラの歌の伴奏をしたかった。

<ジャズおやじ>



## 更新手続きは お早めに! 更新手続きについて

青少年育成センターの利用登録期間は1年となっています。平成28年度(平成28年4月1日~29年3月31日)に育成センターをご利用される場合は、利用証の更新が必要となります。

平成27年度 No 1111111  
利用証 よこはまユースバンド



なお、**現在の利用証の有効期限は平成28年3月31日まで**です。更新手続きは受付までお声をかけて下さい。

【年末年始の休館日】 1月4日(月)9:00~通常開館  
平成27年12月29日(火) ~  
平成28年1月3日(日)



今年も暖冬。どうも史上最強のエルニーニョに当たった年だそう。日本各地の秋の紅葉も遅れて、いつもの時期に色鮮やかな風景になかなかお目にかかれなかったようです。

ただの暖冬になるだけでなく、さまざまな異常現象をもたらすのがエルニーニョ現象の恐ろしいところ。今年も世界中に大雨、大雪、竜巻などの被害をたくさんもたらし悲報が聞こえてきました。

でもこんな珍現象も! 南米チリのある砂漠に一晚で7年分の大雨が降り、一面にゼニアオイの花が咲き誇ったそうです。この現象は5~7年周期であるそうですが、今年には特に見事だったそうです。

今年も残りわずかとなりました。来年もスタッフ一同皆様のご来館をお待ちしております。どうぞ、よいお年をお迎え下さい。<編集 鈴木>

【お申込み/お問合わせ】 ※感想や情報をお寄せ下さい。

横浜市青少年育成センター TEL:045-664-6251 FAX:045-664-6254 E-mail: ikusei@yokohama-youth.jp

